

安全データシート (SDS)

1. 製品および会社情報

製品名 : ネオレタンハード T 硬化剤
会社名 : 三ツ星ベルト株式会社
住所 : 神戸市長田区浜添通 4 丁目 1 - 2 1
電話番号 : 078-682-3379
FAX 番号 : 078-685-5681
作成日 : 2021 年 4 月 12 日
改定日 : 2022 年 5 月 21 日
整理番号 : K-946

2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分 4

健康有害性

急性毒性 経口 : 区分に該当しない

経皮 : 分類できない

吸入 ; 気体 : 区分に該当しない

吸入 ; 蒸気 : 分類できない

吸入 ; 粉塵、ミスト : 分類できない

皮膚腐食性 / 刺激性 : 分類できない

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 : 分類できない

呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 分類できない

生殖細胞変異原性 : 分類できない

発がん性 : 分類できない

生殖毒性 : 区分 2

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 分類できない

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分 2 (肺)

誤えん有害性 : 分類できない

環境有害性

水生環境有害性 (急性) : 区分 2

水生環境有害性 (長期間) : 区分 2

オゾン層への有害性 : 分類できない

【GHS ラベル要素】

[絵表示]



[注意喚起語]

警告

[危険有害性情報]

- ・可燃性液体
- ・生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

- ・長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（肺）
- ・長期継続的影響によって水生生物に毒性

[注意書き]

[安全対策]

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- ・環境への放出を避けること。
- ・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

[応急措置]

- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
- ・気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
- ・火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。
- ・漏出物を回収すること。

[保管]

- ・換気の良い場所で保管すること。
- ・施錠して保管すること。

[廃棄]

- ・内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：ジアミン、DINP などの混合物

成分	含有量(%)	官報告示整理番号		CAS No.	化管法	安衛法 通知対象物質
		化審法	安衛法			
ジエチルトルエンジアミン (DETDA)	1-10	3-3638 3-3639	既存	68479-98-1	該当しない	該当しない
フタル酸ジイソノニル (DINP)	20-30	3-1307	既存	28553-12-0	該当しない	該当しない
混合有機化合物（炭化水素含有）	1-5	既存	既存	特定できない	該当しない	該当しない
炭酸カルシウム	60-70	1-122	既存	471-34-1	該当しない	該当しない
酸化チタン（IV）	0.1-1 未満	1-558	既存	13463-67-7	該当しない	191 号
その他添加剤類	1-5	—	—	—	該当しない	該当しない

4. 応急措置

吸入した場合

- 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。

皮膚に付着した場合

- 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
- 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
- ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。

眼に入った場合

- 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状

情報なし

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

救済者は、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスクなど）を着用する。

医師に対する特別な注意事項

情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤

周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。

粉じんが発生している時は乾燥砂を用いる。

使ってはならない消火剤

情報なし

火災時の特定危険有害性

燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法

消火作業は、風上から行う。

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスクなど）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業には、必ず保護具（手袋・眼鏡・マスクなど）を着用する。

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。

必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項

漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出したものを掃き集めて紙袋またはドラムなどに回収する。

二次災害の防止策

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い

[技術的対策]

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

[安全取扱注意事項]

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
涼しい所に置くこと。
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

[接触回避]

『10. 安定性及び反応性』を参照。

保管

[安全な保管条件]

『10. 安定性及び反応性』を参照。

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。

[安全な容器包装材料]

製品使用の容器に準ずる。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない

許容濃度

AGCIH

酸化チタン (IV) : 10mg/m³ (TWA)

日本産業衛生学会

酸化チタン(IV) : 0.3mg/m³【粉塵許容濃度】(第2種粉塵) 吸入性粉塵 1mg/m³ 総粉塵 4mg/m³

設備対策

蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具 : 必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。

手の保護具 : 保護手袋を着用すること。

眼、顔面の保護具 : 保護眼鏡、保護面を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 : 保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態 : ペースト状

色 : ピンク

臭い : 弱い可塑剤臭

融点/凝固点 : -10℃以下(混合有機化合物)

沸点又は初留点及び沸点範囲 : 403℃ (DINP) 、 150-200℃ (混合有機化合物)

可燃性 : データなし

爆発下限界 : 0.4vol% (DINP) 、 0.6vol% (混合有機化合物)

爆発上限界 : 2.9vol% (DINP) 、 6.0 vol% (混合有機化合物)

引火点 : 72.9℃ (セタ密閉式)

自然発火点 : 200℃以上 (混合有機化合物)

分解温度 : データなし

pH : データなし

動粘性率 : データなし

溶解度

水 : 不溶

溶媒 : ケトン系、エステル系及び芳香族系等の溶剤に可溶

n-オクタノール/水分配係数 (log 値) : データなし

蒸気圧 : データなし
密度及び/又は相対密度 : 1.6 (23°C)
相対ガス密度 : データなし
粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 主剤のイソシアネートと反応して硬化する
化学的安定性 : 通常の取り扱いにおいて安定
危険有害反応可能性 : 自己反応性なし
避けるべき条件 : 情報なし
混触危険物質 : 情報なし
危険有害な分解生成物 : 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性 経口 : 分類できない (LD₅₀ 2000mg/kg 以上、未知成分 0.1%以上)
経皮 : 分類できない
吸入 ; 気体 : 区分に該当しない
吸入 ; 蒸気 : 分類できない
吸入 ; 粉塵、ミスト : 分類できない
皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 分類できない
呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
IARC : データなし
日本産業衛生学会 : データなし
生殖毒性 : 区分2 (DINP : 区分2)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分2 (肺) (混合有機化合物 : 区分1 (肺))
誤えん有害性 : 分類できない

12. 環境有害情報

生態毒性
水生環境有害性 (急性) : 区分2 (DETTA : 区分1)
水生環境有害性 (長期間) : 区分2 (DETTA : 区分1)
残留性/分解性 : データなし
生態蓄積性 : データなし
土壌中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律) 及び関係法規、法令を遵守して、適正に処理する。
廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

汚染容器および包装：空きの汚染容器および包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規、法令を遵守して、適正に処理する。

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連番号 : 3082
品名（国連輸送名） : 環境有害物質（液体）
国連分類 : クラス9（環境有害物質）
容器等級 : III
海洋汚染物質 : 有害液体物質（Z類物質）（施行令別表第1）、酸化チタン
査定物質（Y類同等の有害液体物質）（環境省告示）、DINP

国内規制

陸上輸送：消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。

海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策：

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。密栓してあることを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

火気厳禁。

緊急時応急措置指針番号：171

15. 適用法令

化管法（PRTR） : 該当しない
労働安全衛生法
危険物 : 該当しない
特化則 : 該当しない
有機則 : 該当しない
法57条 表示物質 : 該当しない
法57条の2 通知対象物質 : 酸化チタン（IV）（政令番号191）
毒物及び劇物取締法 : 該当しない
消防法 : 指定可燃物可燃性固体類
船舶安全法 : 有害性物質
航空法 : その他の有害物質

16. その他の情報

参考資料 独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）
各原料の安全データシート
GHS 対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針（日本化学工業協会、2019）

本安全データシート（SDS）は、現時点で入手できた資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は、用途、使用法に適した安全対策を実施

した上で使用して下さい。また、当社は、SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。